

## 指定管理者の期末モニタリング

施設名	宮代町学童保育所 かしの木・いちょうの木・ふじ児童クラブ	年度	令和4年度
指定管理者	株式会社アンフィニ	担当課	子育て支援課
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	期別	第1期
施設の目的	両親等の就労等により保育が必要な児童に対し、保護者に代わり保育することにより、児童の健全な育成を図ることを目的とする。		
業務の内容	(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 (2) 施設及び設備の維持管理に関すること。		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良 0 B適正 13 C改善 0
<p>・各児童クラブにおいて、適正な指導員配置、感染症対策の徹底、意見箱設置やアンケートの実施、児童及び保護者理解に基づく保育の実践等、入所児童及び保護者に対し、安定的な保育サービスの提供が行われている。</p> <p>【評価事項】</p> <p>・チューター管理職の配置により、指導員のモチベーション維持、雇用継続が図られている。</p> <p>・自主的な指定管理者会議の実施により、指定管理者間の連携やサービスの向上に向けた方策が図られている。</p> <p>【改善事項】</p> <p>・指導員間の情報共有(コミュニケーション強化)の場の設定や支援を必要とする児童のより柔軟な受入対応策等により、更に安定的な保育運営を期待する。</p>	

1. 施設の管理運営・事業	評価	B 適正
<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらイベントや行事等を中止することなく実施できている。</p> <p>【イベント関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレーアドバイザーによるサッカー教室(年間実施回数) かしの木児童クラブ(13回)、いちょうの木児童クラブ(12回)、ふじ児童クラブ(12回)</li> <li>・ダンス教室(年間実施回数) かしの木児童クラブ(11回)、いちょうの木児童クラブ(11回)、ふじ児童クラブ(11回)</li> <li>・手話教室(年間実施回数) かしの木児童クラブ(3回)、いちょうの木児童クラブ(3回)、ふじ児童クラブ(3回)</li> <li>・その他イベント(実施回数) ドッジボール教室、スナックゴルフ教室、理科実験教室 (各学童1回実施)</li> </ul> <p>【防犯・防災関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■不審者訓練(警察署の協力あり) かしの木児童クラブ、いちょうの木児童クラブ、いちょうの木児童クラブ分室、ふじ児童クラブ(各1回)</li> <li>■避難訓練(消防署の協力あり) かしの木児童クラブ、いちょうの木児童クラブ、いちょうの木児童クラブ分室(各1回)</li> </ul> <p>※ふじ児童クラブは雨天により中止。後日、在籍児童と指導員のみで実施。</p> <p>【指定管理者会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■町内指定管理者による連絡会議の実施(年4回) 令和4年7月15日(ひだまりサロンにて実施)、令和4年9月13日(宮代町立図書館にて実施)、令和4年11月15日(進修館にて実施)、令和5年1月19日(ふじ児童クラブにて実施)</li> </ul>		
2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
<p>・イベントの開催にあたっては、参加児童に偏りがでないよう、各児童クラブの所長と連携を図りながら参加学年や人数等の配慮をしている。また、開催日時については各児童クラブでの掲示や学童だよりにより広く周知している。</p> <p>・支援を必要とする児童が児童クラブを利用する場合には、加配職員を増員配置し、どの児童も児童クラブの利用ができるようにしている。また、支援を必要とする児童への対応が適切に行われるように、指導員を対象とした発達障害に関する研修を行っている。</p>		

<b>3. 職員の配置、研修等</b>	評価	B 適正
<p>・チューターの配置を昨年度より継続。新しく入社した指導員を対象とした研修の中で、チューターの役割等の説明を行い、指導員間の悩みや不安の解消に向けた取り組みができるよう周知した。令和4年度の退職者は9名で定着率としては高くなっている。</p> <p>・統括管理者の配置により、各小学校との連携が細やかに行われている。特に、新型コロナウイルス感染症の対応については、学校に準ずる形での対策を実施することができた。また、イベント等での学校施設の使用に関しても学校からの協力を得られている。</p>		
<p><b>【実施研修】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育コンサルタントによる研修(実施学童)(実施回数) <ul style="list-style-type: none"> <li>遊び提供研修 (かしの木児童クラブ、いちようの木児童クラブ、ふじ児童クラブ)(各1回)</li> <li>保護者対応研修 (かしの木児童クラブ、いちようの木児童クラブ、ふじ児童クラブ)(各1回)</li> <li>子ども適応論研修 (かしの木児童クラブ、いちようの木児童クラブ、ふじ児童クラブ)(各1回)</li> </ul> </li> <li>・遊びの研修 (研修内容)(参加者人数) <ul style="list-style-type: none"> <li>講師 帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 准教授 石井 友光</li> <li>(かえで児童クラブ含む31名参加)</li> </ul> </li> <li>・発達障害研修 (研修内容)(参加者人数) <ul style="list-style-type: none"> <li>講師 株式会社アンフィニ 保育事業部顧問 大曾根 邦彦</li> <li>(48名参加)</li> </ul> </li> </ul>		
<b>4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検</b>	評価	B 適正
<p>・各児童クラブで、日常の清掃や植栽管理等を行うとともに、施設管理については常時点検を実施し、児童が安心・安全かつ快適に生活を送れるよう環境整備と維持に努めている。</p>		
<b>5. 施設の修繕</b>	評価	B 適正
<p>・ふじ児童クラブにおける窓ガラスの破損、壁の破損、エアコンの故障等に伴い、修繕を行った。町に報告した上で、児童の安全面を考慮しながら適切に対応している。</p>		
<b>6. 備品管理</b>	評価	B 適正
<p>・各児童クラブにおいて、備品管理台帳により管理し、使用年数や破損・劣化等の状況に応じて修繕や入れ替えを行い、安全に使用できるようにしている。</p>		
<b>7. 安全・危機管理</b>	評価	B 適正
<p>・各児童クラブに安全対策マニュアルを配付し、緊急時の安全対策について確認を行っている。また、各児童クラブごとの危険箇所の把握に努め、危機管理意識を高めている。</p> <p>・地震火災における避難訓練や不審者訓練について消防署や警察署の協力も得て、各児童クラブ年1回ずつ実施している。</p>		
<b>8. 個人情報の管理</b>	評価	B 適正
<p>・名簿や個人情報が記載されている資料等に関しては、鍵付きのロッカーに保管し、情報の管理を行っている。職員に対しては、個人情報の保護及びプライバシーに関して適宜周知することにより、個人情報の管理に関して意識を高めている。</p> <p>・パソコンは鍵のかかる部屋に配置し、ロックをかけて使用している。また、各児童クラブにシュレッダーを配置し、個人情報についての不要な資料は速やかに処分できるようにしている。</p>		
<b>9. 利用者ニーズの把握・反映</b>	評価	B 適正
<p>・各児童クラブの利用者に向け、意見や要望等がある場合の問い合わせ先の掲示やご意見BOXの設置を行うことで、利用者の意見を収集できる体制づくりに努めている。また、ホームページでのお問い合わせフォームの設置についても引き続き行っている。</p>		
<b>10. 自主事業の実施</b>	評価	
<p>該当事業なし</p>		

<b>11. 経費節減</b>	評価	B 適正
<p>・備品や消耗品などを管理台帳で適切に管理し、経年劣化や破損の有無の確認を行い、予防保全や傷む前の修繕、交換につなげ、修繕コストの削減に努めている。</p>		
<b>12. 環境への配慮</b>	評価	B 適正
<p>・使用していない部屋の照明の消灯やおやつのごみの回収方法を工夫するなど、節電やゴミの削減に努め、3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動を積極的に行っている。          ・ICTシステムを活用し、ペーパーレス化を図っている。今後、学童だよりを連絡アプリ(キッズリー)に掲載することにより、さらにペーパーレス化の実現を目指している。</p>		
<b>13. 利用者への情報提供</b>	評価	B 適正
<p>・運営者及び各児童クラブからの連絡がある場合に、キッズリー(登降所管理等システム)を使用し、適宜必要な情報の発信を行っている。なお、発信の際は、内容相違や連絡漏れ等がないよう確認している。</p>		
<b>14. 会計管理</b>	評価	B 適正
<p>・会計システムで管理を行い、記載漏れや不備がないように適切な管理を行っている。</p>		